

横浜市立美しが丘西小学校  
平成28年度 学力向上アクションプラン

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に主体的に取り組める授業を展開し、学び合い、高め合って学習を深めていきます。</li> <li>・さまざまな教育活動を通して、豊かな感性を育み、自己有用感を持たせ、自他を大切に人権感覚をもたせます。</li> <li>・地域や保護者との連携を図りながら、人と人、地域とのつながりを大切にしていきます。 ・教職員が相互に啓発・連携する活気あふれた学校運営組織の確立を推進していきます。</li> </ul>	

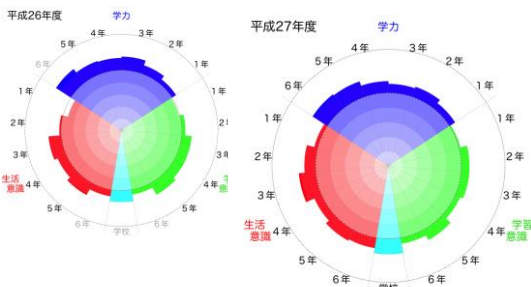
### (2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
確かな学力 (学習指導)		主体的に学習に取り組めるように、調べ学習や話し合い学習などをおこない、言語活動を充実させながら知識を定着し、考えを深める力を育てる。	1 本年度は、国語を中心とした話し合い学習に取り組み、「アクティブ・ラーニング」を意識しながら、主体的・協働的に子どもたちが取り組む学習活動の基礎を確認する。 2 小集団での学びの定着により、様々な意見に出会う中で思考力、判断力、表現力の向上をめざし、持続可能な社会の一員としての課題解決能力を身に付けさせる。
	担当		

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

### (1) 学力の概要と要因の分析

横浜市の平均を上回る学力があるが、学習意識とは結びついておらず、教科の学習が「好きか」という設問では、市の平均を下回る学年も散見される。「学習は普段の生活に生かされているか」という設問でも、市の平均を下回っている。現状では、子どもたちの意識としては、学習は単に暗記するだけのものとなっているといえる。学習が生活に結びつくような実感をもてる授業や体験を伴う学習を行うことで、より意欲的に学習に取り組めるようになり、学習することが好きになることにつながると考えられる。



### (2) 教科学習の状況

- 国語科：全体的に市の平均を上回っているが、その中で「話す・聞く能力」が低めである。
- 算数科：「数学的な考え方」や「知識・理解」は市の平均を上回るが、「算数科意識」は高まっていない。
- 社会科：5・6年生は各項目で市の平均を大きく上回るが、3・4年生は「知識・理解」が平均を下回る。
- 理科：どの項目も市の平均を上回るが、3・4年生の「技能」は、市の平均と同じくらいである。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

本校の特徴として全体的に学力が高く、過去3年間の状況からも学力は高い値を保持している。しかし、学習意識は高いとは言えず、「勉強が好きである」という設問は市の平均を下回る学年もある。その中で、社会的意識の「みんなが疑問に思ったことを考えたり話し合ったりしているか」や、国語的意識の「わかりやすく話しているか」という設問に対しては、意識が少しずつ高くなってきている。校内重点研究で、小集団による学習の仕方について取り組んでおり、クラス全体だけではなく、グループ内で話し合ったり発言したりする学習を繰り返してきているので、その効果が出てきていると考えられる。

### 3 平成 28 年度 学年・教科等としての具体的取組

#### 1 学年

- 国語科や生活科などで、自分の知っていることややったことを文章に書くなど、表現活動を大切にす。
- ペアで自分の意見を言ったり、友だちの意見を聞いたりして学習を進めることができるように指導する。
- ある事象や問題等に出会った際に、漠然としたものでも、疑問や問題意識がもてるように指導する。

#### 2 学年

- 国語科や生活科などで、自分のやったことや考えたことを、順序に沿ってかくなど、表現活動を大切にす。
- ペアや小グループで、自分の意見を言ったり、友だちの意見を聞いたりして学習を進めることができるように指導する。
- ある事象や問題等に出会った際に、それらとかわり合うことを通して、自分の問題としてとらえることができるように指導する。

#### 3 学年

- 国語科や社会科等で見学・調査したことを相手やめあてに沿って段落を考えながら文章に書くなど表現活動を大切にす。
- 小グループで役割を分担しながら意見交換をし、学習を進められるように指導する。
- 事象や問題等に出会った際に、既習の知識や経験等をもとに解決への見通しがもてるように指導する。

#### 4 学年

- 国語科や社会科等で見学・調査したことを相手やめあてに沿って段落を考えながら文章に書くなど表現活動を大切にす。
- 小グループで役割を分担しながら、相互に意見を出し合っ、積極的に学習を進めることができるように指導する。
- 事象や問題等に出会った際に、既習の知識や経験等をもとに解決への見通しを立て、解決に向けて作業を行えるように指導する。

#### 5 学年

- 国語科や算数科で、自分の考えを文章や式などを使って相手にわかりやすく説明するなどして、表現活動を大切にす。
- 小グループで、計画的に話し合いを進めながら積極的に意見を出し合えるように指導する。
- 課題解決への見通しに沿って、情報を収集し客観的な知識・理解を獲得しながら学習を進めることができるように指導する。

#### 6 学年

- 各教科でこれまでに身に付けた、文章を書く力を積極的に用い、文章に書いたり説明をしたりして表現活動を大切にす。
- 小グループで、計画的に話し合いを進めながら高め合ったり深め合ったりした意見を、全体で共有することができるように指導する。
- 収集した情報や客観的な知識を用いて解決した内容について、相互に発信することができるように指導する。

#### 個別支援学級

- 個別指導により、国語・算数の基礎学力の定着をはかる。
- 調理実習や様々な作業を通して、自立に向けての力を伸ばしていく。
- 子どもの発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行う。
- 子どもに応じた分かりやすい情報発信をするなど、言語環境の整備を行う。